平成１７年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号）	提案機関名	県央地区農政事務所
８８ ※記入不要		

要望問題　土にもどる（廃棄物の出ない）プランター、植木鉢

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）　】

・「家畜排せつ物法」の施行により、管理基準に従い、家畜排せつ物を管理しなければならない。
・これに基づく家畜排せつ物の利用の促進により、肥料としての堆肥流通が過剰になることを予想する。
・堆肥の利用を促進する一助として、現実的、実用的なものとして、耕種農家、植木農家、一般県民に広く利用できる、堆肥製の「土にもどる（廃棄物の出ない）」プランター、植木鉢等の開発をする。

解決希望年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
研究対応区分	①研究所対応　②委託研究　③共同研究　④その他
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（　②根府川試験場　③三浦試験場　④津久井試験場　） ⑤畜産研究所　⑥水産総合研究所（　⑦内水面試験場　⑧相模湾試験場　） ⑨自然環境保全センター

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業総合研究所
部　　署：農業環境部	
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可
試験研究課題名	（①、②、④の場合）

対応の内容等

堆肥製のプランター等の作成には、堆肥材料の成型化のための装置の開発が必要となるため、当所だけでの対応は困難と考えられます。

このため、本提案については、情報の収集、提供に努めます。

なお、現在、（独）農業技術研究機構　北海道農業研究センターを中心に「機能性有機質成型ポットを利用した環境保全型栽培技術」の研究が進められていますので、研究成果情報を提供いたします。

解決予定年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
備　考	